

地域密着型通所介護				運営推進会議 議事録 【第 2 回】			
日時：平成 30 年 3 月 16 日（金） 16：30～17：30				場所：まんてん吉祥寺 機能訓練室			
利用者	A様	地域代表	欠席	地域包括	樋口加織様	通所介護	山田裕美
家族	B様			市職員	谷村則久様		
■議題				■議事内容			
1. 活動状況報告				1. ○登録者数（市内 32 人、市外 10 人、合計 42 人）			
○登録者数（市内・市外、合計）				稼働率 90%以上を推移していたが、1、2 月と稼働が落ちた。別項で説明。年明けより問い合わせ多く、3 月は稼働率 90%以上に戻る見込み。			
○平均介護度				○平均介護度 2.0（前回より↑）			
○活動報告				○活動報告			
				<ul style="list-style-type: none"> ・この半期は、サロンコンサート、力士訪問などがあった。 ・自費サービスとしてフットケアを本格的に始めた。 <p>足にトラブルを抱える方は多く、看護師が担当するということもあり、疾患の発見→受診につながることもできた。フットケアで対応できることは、通院しなくともまんてんで対処できることから、ご家族にも喜ばれている。</p>			
○ケース報告				○ケース報告			
				<p>①インフルエンザ罹患によって認知症状発症された利用者様があり、今までクリアだっただけにご家族が困惑。介護困難に思っしまい、施設入所を決めてしまった。毎日ご利用だったため、稼働が下がってしまった。</p> <p>②ADL低下の方が増えた。</p> <p>まんてんも 4 年目に入り、利用者様も年を重ねてきている。この半年で区分変更をかけて介護度を</p>			

上げてもらった方が何人かいる。それはレベルダウンという事だけではなく、サービスを増やすため、該当者の安全を守るための区分変更である。しいてはそのご家族にも安心して生活してもらい、かつ負担も少なくするためのサービス増加であり、区分変更であると思っている。介護度が下がることが本当は望ましいが、日中独居の高齢者が多く、在宅での介護に安心を得て家族の支えになるためには介護度を上げることも時には必要と思われる。

③医療との連携

看護師2名体制になり、よりご利用者様の体調管理ができるようになった。通所サービスを利用して、ご家族が初めて知る利用者様の健康状態がある。

- ・排泄の自己処理がうまくできていない。
- ・着替えが不十分である。(下着が変わってないなど)
- ・皮膚疾患がある。水虫がある。
- ・義歯に問題があり、食事がうまくとれていない。
- ・足の浮腫がある。

3. 出席者より、要望、助言等

- ・前回の課題である、送迎時の玄関までの歩道の安全確保はどうなったか？
→人手不足を解消し一人職員を入職させたので、常に建物側から送り出す人、歩道側から迎える人がいるようになったため、周りの危険を察知できるようになった。また、デイサービスがあることを周囲が認知し始めてくれたこともあるように思える。
- ・デイサービスが一番ご利用者様を見ている時間が長いと思われるので、これからもご利用者様

の体調管理はじめご様子を見て、在宅生活を長く続けられるように支援していただきます。

- ご利用者様代表より

とにかく、慣れているので、「ツーといえばカー」となんでもわかってくれるのでありがたい。毎日楽しいです。

- ご利用者代表ご家族様

利用当初から、朝食のフォローなど細かいことを気にかけてくれて助かっている。自分も仕事をしているので、日中まんてんに来てくれるので安心できる。足の不調をフットケアで改善で来ているので本当におすすめできる。なにより本人が気にいって通ってくれてるのでありがたい。